

～あの“DJポリス”も学んだスキルとは～  
**令和5年度 虐待にならないスピーチロック回避研修**  
**開 催 要 綱 (詳細)**

- 1 趣 旨** 「ちょっと待ってください」や「後にしてください」など利用者の行動を制限してしまう恐れのある「スピーチロック」を職員が使わず、相手を受け入れる言葉に言い換える方法を学ぶことにより、虐待の防止、福祉サービスの向上につなげることを目的に開催します。
- スピーチロックの基本から起きやすい現場と状況、原因分析等について、施設や事業所内で実施する取り組み方も含め講義と個人ワークにより学びます。

- 2 主 催** 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会
- 3 対 象 者** 福祉施設・介護サービス事業所に勤務する職員
- 4 期日・会場・定員** **※今後の状況によっては、延期又は中止となることがあります。**

期 日	会 場	定 員
10月20日(金)	不二羽島文化センター 4階 大会議室 (羽島市竹鼻町丸の内6-7)	会場受講30名 Zoom受講60名

- 5 プログラム** ※当日の進行状況により内容を一部変更する場合があります

時 間	内 容
9:30~9:50	受付
9:50~10:00	開会・オリエンテーション
10:00~12:00	<職場環境とスピーチロックの関係性> ・高齢者虐待と児童虐待のデータから考える ・スピーチロックとは何か？ ・スピーチロック概要と背景 ◆言葉の洗い出しワーク (状況カードの記入) ※放送禁止用語紹介 ・スピーチロックの言葉 ・虐待になり得る言葉
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~13:40	<要因分析> ・スピーチロック対処ポイントと言葉の言い換え ・真の原因はヒューマンエラー ・ヒューマンエラーの種類 ・起こり得る4つの要因 自己チェックシート ・スピーチロック防止 4つの視点 ・エラープループ
13:40~15:20	<スピーチロック防止対策> ・表現方法を習得 (言語表現と非言語表現) ・共感を得る言葉の使い方 (言い換え、置き換え、選択の方法) ・回避をするためには未然防止 ・施設や事業所内で実施する取り組み方
15:20~15:30	質疑応答
15:30	閉会

※講師は、会場で講義を行う予定です。

※一部演習については、会場受講は1グループ6人でグループワークを、Zoom受講はブレイクアウトルームを使用してグループワークを行います。

※会場の配席は間隔をあげ、随時換気等を行います。

## 5 講師 大野 晴己（おおの はるみ）氏 株式会社はあもにい 代表取締役

静岡大学大学院 工学研究科（技術経営）修了。パフォーマンス心理士。  
SBS 静岡放送(株)退社後、株式会社はあもにい 創業 32 年目。「人財共育®」に取り組む。2000 年エフエム岡崎の立上げ株主・取締役を 16 年兼任する。2017 年には、「採用育成サポート協同組合」を設立、理事長。官公庁・行政団体、企業教育において、「ヒューマンエラー」「クレーム」「作業効率」「5S 改善」に取り組む。大学の教壇にも立つ傍ら、警察の雑踏警備「DJ ポリス」の研修をしたことがきっかけで、全国から、「スピーチロック防止研修」「虐待防止研修」の依頼を受ける。研修・講演会など年間 500 回の実績。  
著書：「そのミス 9 割がヒューマンエラー」

## 7 受講料 1 人につき 6,000 円

（本会指定口座への事前振込み必要。詳細は、申込締切後に通知します。）

## 8 申込方法 岐阜県社協研修 WINC システムより必要事項を入力し、8月15日(火)～9月14日(木)までにお申し込み下さい。なお、従来の紙による申し込みの場合は、別紙申込書に必要な事項を記入し、下記あて FAX ください。受講の可否については、申込み締め切り後に通知します。

研修日の 2 週間前になっても案内がお手元に届いていない場合は、当センターまでお問い合わせ下さい。

岐阜県社協研修 WINC システム <https://gifu.fukushijinzei.jp/trainingManagement/entry/>

## 9 昼食 本会からの斡旋はありませんので、各自で準備ください。なお、会場内での飲食は可能です。

## 10 留意事項 (1) この研修は「岐阜県介護職員資質向上支援事業実施要綱」及び「岐阜県介護福祉士等届出者研修助成事業実施要綱」に規定する研修に該当します。

対象者に該当し、支援を希望する場合は、上記要綱に規定する申請書を研修 WINC システムから出力し、9月14日(木)必着にて、郵送で提出ください。

**（要押印のため、FAX 不可）**

(2) マスク等、感染症対策を心掛けて下さい。

(3) 服装の指定はありませんが、研修中は節度ある服装を心がけるとともに、空調等による体感温度には個人差がありますので、上着等を持参ください。

(4) 今後の状況により、延期もしくは中止となる場合があります。また、暴風雨等の災害や不測の事態により、本研修の開催を延期する場合は、研修開始 3 時間前を目途に本会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

※岐阜県社会福祉協議会 <https://www.winc.or.jp/>

## 11 申込み・問い合わせ先



社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 岐阜県福祉人材総合支援センター

（担当：田倉・高橋）

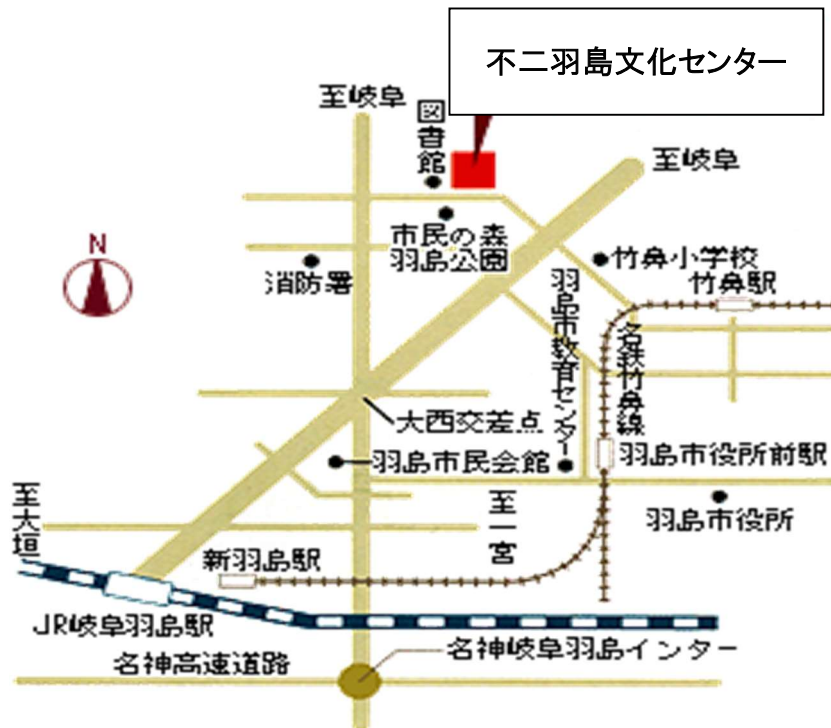
〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内

TEL 058-278-1823 / FAX 058-276-2571

E-mail [kenshu-center@winc.or.jp](mailto:kenshu-center@winc.or.jp)

岐阜県「社協マスコット  
キャラクター」とともに

## ◆会場案内（不二羽島文化センター）

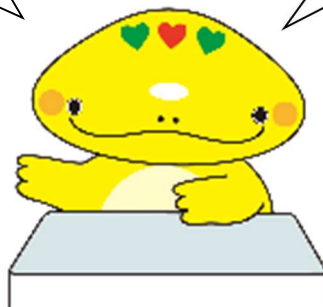


### 【交通のご案内】

- |         |                 |            |
|---------|-----------------|------------|
| □名鉄竹鼻線  | 竹鼻駅・羽島市役所前駅から徒歩 | 約15分       |
| □東海道新幹線 | 岐阜羽島駅           | からタクシーで約5分 |
| □名神高速   | 岐阜羽島IC          | から車で約8分    |

グループワークで他の施設での意見が聞けたことはよかった。ヒューマンエラーの話はとても役に立ちました。現場でよく言っていることがあるので見直して、今後の介護に役立てたいと思います。〈令和4年度受講者の声〉

職員の心のコントロールも大事ですし、この言葉は相手にとってどう感じるのかと一度、立ち止まって考えてみることは必要だと改めて思いました。言葉の重みを知り、今後活かしていきたいと思います。〈令和4年度受講者の声〉



申込期間 8月15日(火)～9月14日(木)

令和5年度 虐待にならないスピーチロク回避研修  
受講申込書

岐阜県社会福祉協議会事務局長 様

令和 5年 月 日

受講申込者	氏名 (ふりがな) 氏名 ( )	性別 ※○をつける	男 ・ 女	
	年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上		
	役職	職種 ※○をつける	介護職・生活支援員・相談員・介護支援専門員・ 看護職・事務職・管理職・その他 ( )	
	分野 ※○をつける ※複数可	高齢者 ・ 障がい者(児) ・ 児童 ・ 社会福祉協議会 ・ その他 ( )		
	経験年数	(1) 福祉・介護の業務に従事している年月 ( 年 月 ) (2) 現在の勤務先での勤務年月 ( 年 月 ) ※令和5年9月末日現在で記入ください。		
所属先	法人名			
	施設・事業所名			
	所在地等	〒 - TEL ( ) - / FAX ( ) -		
	担当者氏名			
受講方法 ※希望する方法に○	会場受講 ・ Zoom受講			
研修助成制度の利用 ※利用する場合○をつける	・ 介護職員資質向上支援事業 ・ 介護福祉士等届出者研修助成事業 ( 初回利用 ・ 2回目以降利用 ) ※別途、申請書を申込期間内必着で郵送してください。			

※9月14日(木)必着で本会へ郵送またはFAXにて申込みください。

※用紙が足りない場合はコピーしてください。本会ホームページ内研修情報からも印刷できます。

【個人情報の取り扱いについて】

この申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ使用させていただきます。

Web上で受講申し込みができる「岐阜県社協研修WINCシステム」もぜひご利用ください。

【申込み先】 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 福祉人材総合支援センター (担当: 田倉・高橋)  
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内  
TEL 058-278-1823 / FAX 058-276-2571 / E-mail kenshu-center@winc.or.jp